



# とうごう 議会だより

2  
貯金・保険

552-950

0万円プラン



明るい窓口を目指して

2019年 (平成31年) 第 130 号

2月1日 発行

	ページ
■「道の駅」即時中止を求める	2
■全小中学校エアコン補正予算可決	3
■一般質問「町政を問う」	5
■活動レポート	12
■議会改革の取り組みを振り返って	15



# 道の駅構想推進事業 即時中止を求める

12月議会で、陳情「道の駅」建設構想の即時中止を求める要望書」が全会一致で採択され、直後に水川淳議員から提出された決議「道の駅構想推進事業」の即時中止を求める決議」が全会一致で可決されました。

陳情「道の駅」建設構想の即時中止を求める要望書」  
要旨

現在、東郷町では国道153号線沿いに「道の駅」建設構想が進められているが、町民に周知されることなく進められていることは問題である。

28年3月の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」ではじめてでてきたもので、議会でも賛否が拮抗していると聞いている。

東郷町の魅力は緑多く美しい環境の中、子育てなど日常の暮らしができることであり、税金で魅力を破壊する行為は到底賛同できない。

行政当局には、建設構想の即刻中止を求め、議会には住民の声をもっと聞き、中止となるような適切な決議を要望する。

※要旨のため、原文とは異なります。

## 賛成討論

道の駅が議題のタウンミーティングでも、道の駅に反対の意見が多かった。町は計画を慎重に見直しているが、住民からいつまでやっているのか」という意見がある。町長選挙後も署名活動をした住民に敬意を表す。

(門原武志 議員)

道の駅の建設が大きな争点の選挙だった。「即刻、中止と言

うべき」と、井俣町長の初議会では私は申し上げた。議会内では、町長選挙後に道の駅建設構想の中止を阻止したり、推進を蒸し返す議論も状況もない。

(若園ひでこ 議員)

示されてきた事業は推進すべき「だった」と今も確信している。しかし、町長選挙の結果を踏まえ、未だに明確な意思表示をしない町長への責任ある決断を促す当陳情に、現実的な判断として賛同する。

(水川淳 議員)

「道の駅構想推進事業」の即時中止を求める決議」  
要旨

町長選挙の結果を受け、道の駅事業が中断され、関係機関との調整・交渉も止まったまま今日まで至っているが、なおも継続か中止かが決まらないことは本町にとって好ましい環境ではない。

仮に事業が再開しても、これまでの時間の経過によって、示されてきた本事業での成果が充分に得られるか疑問である。

検討書に示された調査・分析結果を活かし、まちの諸課題への新たな対応策を速やかに検討することこそが、本町の福祉増進につながる道である。

※要旨のため、原文とは異なります。

## 賛成討論

陳情第1号が求める「道の駅建設構想が中止となるような適切な決議」は陳情採択で十分だったことは、陳情を全員一致で採択した総務経済委員会が決議案を提出しなかったことから明らかだと言っておく。

(門原武志 議員)

町長は、選挙の争点を道の駅見直して勝った。タウンミーティング等で直接、町民の声も聞かれた。また、反対署名800以上が集まっている。全議員が中止を求めることに賛成。何らかの形で調査・分析の結果は、活かしてほしい。

(いづいゆみ 議員)

道の駅により期待された効果を、道の駅に代わる何かで発揮する必要はある。2年後には人口減少が見込まれる今、難しい課題。難しいからこそ、一刻も早く、未来のための施策を検討することに集中しなければなら

(石橋直季 議員)

# 全小中学校への来夏のエアコン設置 補正予算が可決

## (小学校関連予算に附帯決議が可決)

町内の全小中学校普通教室へのエアコン設置の工事費が全会一致で可決されました。

町民が注目する重要案件でもあり、補正予算がはじめて予算特別委員会で審査されました。

※本町議会では、全議員が審査にかかわることができるよう、当初予算は「特別委員会」を立ち上げ審査しています。

### 附帯決議要旨

小学校の普通教室へのエアコン設置のための予算の執行に際し、以下の点に留意され、適正適切な事務執行に努めることを求める。

- 1 学校へのエアコン設置により、「東郷町学校施設長寿命化計画」ほか今後進められる教育環境整備に遅滞が生じないように執行を求める。
- 2 緊急性を認め賛成しているものであり、財源については、今後も国などと協議・調整を続け、さらなる交付を得られるよう努められたい。

※要旨のため、原文とは異なります。

### 賛成討論

2019年6月までの全小中学校へのエアコン設置に舵を切り、財政的、長期的な計画の見直しがある中でも、これまでの計画通り、教育環境が整備されることもまた、これからの未来を作る子どもたちに必要であり、賛同

(石橋直季 議員)

### 反対討論

本委員会並びに先の設計委託料に関する審議では当局の答弁では、今後も学校施設長寿命化計画をつつがなく遂行し、国の補助金に関し協議・調整を図つ

ていくとする意志は充分確認でき、附帯決議の内容は既に担保されている。

(國府田さとみ 議員)

議会の名譽のために言っておくが、平成27年第3回定例会で学校に空調を整備するよう求める請願を採択したように、議会は教室へのエアコン整備を求めていた。緊急性を認めてこの補正予算に賛成したのではない。

(門原武志 議員)

### ◆副町長人事

空席が続いていた副町長が、12月議会で人事案として提出され、前福祉部長の近藤悦規氏が就任しました。

(全員賛成で同意)

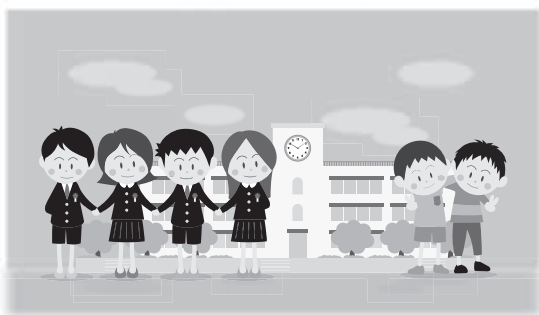
### 賛成討論

公選で選ばれる町長を行政の専門的見地から補佐する位置づけで選任される本町の伝統的仕組みは有意義。議会とも密な信頼関係の下、あらゆる情報を共有しながら、ともに考えていく姿勢の堅持を求め賛成。

(水川淳 議員)

町長を支え、より積極的に政策や企画に、政策判断する立場の副町長の存在は、町政を安定的に運営していく観点や豊富な行政経験と、55歳という若い力によって、明るい希望と大いなる期待を感じさせる副町長の誕生に賛成。

(加藤啓二 議員)



**請願**

◆**介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書**

(賛成少数で不採択)

**賛成討論**

自治体キャリアバンの要請事項は、中学卒業まで医療費を無料化する県内市町村が9割に達するなど、国が社会保障費を削る中でも前進している。要望は多岐にわたるが、一歩ずつでも前進させる意味から採択を求める。  
(門原武志 議員)

この請願は、各市町の現場の声をまとめたもの。それぞれ各市町によって異なる点があり、国でも問題になった障がい者・障がい児の暮らしの場、移動支援、就労支援の問題は、わが町も含め進んでいないので拡充に賛成。  
(うしろゆみ 議員)

**反対討論**

請願主旨は充分理解するが、「予防接種について」助成制度と拡充を求める事への疑問がある。予防接種への賛否議論を含め、意義や効果、副作用等の問題点を検証され、要望すべき事項かどうかの検討をしていただきたい。  
(國府田さとみ 議員)

多岐にわたる要望で研究の余地はあるが、実現には財源確保が求められる。課題の優先順位を整理し、財源を確保し実施させる判断こそが肝要であり議会の責任である。社会保障改革の行く末を見守る時期でもあり不賛同。  
(水川淳 議員)

◆**「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書採択に関する請願書**

(賛成少数で不採択)

**賛成討論**

核兵器禁止条約に反対する日本政府は、核軍縮のための前提条件が整つのを待つという核保有国と同じ立場に立つ内容の決議を国連で提案しているが、日本は唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶に向け役割を果たすべきだ。  
(門原武志 議員)

広島・長崎の原爆被爆から73年目になる。日本は、唯一の戦争被爆国である。「核兵器禁止条約」が昨年7月に採択されたが、日本政府は、署名・批准していない。原爆被災者自ら要請にこたえられ日本の現状を悲しいと考えるから。  
(うしろゆみ 議員)

唯一の被爆国である日本ゆえに、求めるべきは「核兵器では平和は得られない」、「核兵器に対する抑止力は核兵器では図れない」とする平和への道筋ではないか。全ての核兵器は廃絶されるべきだと世界に伝える使命がある。  
(國府田さとみ 議員)

**反対討論**

核兵器廃絶は全人類が希求するものである。現実的には、国際協調に自国の安全保障を依存する我が国が、同様の諸外国との足並みを崩して、今、締結に向け能動的な動きをすることに賛同できない。  
(水川淳 議員)

**陳情**

◆**陳情書「商工会の経営支援体制確立への配慮と地域商工業振興策の拡充」**

(全員賛成で採択)

**賛成討論**

2年後には「ららぽーと」(テナント230店舗?)や沿線には多くの事業者の出店が予想される。既存事業者と新規参入事業者とで切磋琢磨され、盛り上げていただき、町民の幸福に寄与される商工会からの陳情に賛成する。  
(加藤宏明 議員)

**議案審議の結果一覧**

**12月定例会**

※可否が割れた議案のみ掲載させていただきます。(記載のない議案は全員賛成)

立…立憲民主党 共…日本共産党東郷町議員団	創政会…とうごう創政会 公…公明党	会派	新東会	創政会	立	共	公	無会派									
<p><b>議案名</b></p> <p>議長 箕浦克巳は採決に加わらない ○…賛成 ×…反対</p>		審議結果	石橋直季	加藤達雄	加藤宏明	水川淳	近藤鑛治	星野靖江	若松孝行	加藤啓二	國府田さとみ	門原武志	箕浦克巳	新家光江	西尾隆男	いしいゆみ	若園ひでこ
		【請願】 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	○	×
		【請願】 「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書採択に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	-	×	×	○	×	
		【附帯決議】 議案第66号平成30年度東郷町一般会計補正予算(第4号)に対する附帯決議※	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	×	-	×	×	○	

※…可否同数のため、議長の裁決により可決となった。



# 一般質問

# 町政を問う

今回も、12人の議員が質問に立ちました。  
全小学校区で開かれたタウンミーティング  
が11月に終わり、道の駅のその後についての  
質問が並びました。

Q: 「支え合う地域づくり」の主な取り組みは  
A: 地域包括支援センターを1から2ヶ所に増設

..... 新家 光江 議員



【問】地域支え合い協議  
体の活動は。

【福祉部長】高齢者がゴ  
ミ出しや買い物に困っ  
ている問題、高齢者の  
集いの場に関する課題  
等の話し合いを実施。

【問】「有償ボランティア  
ア」のあり方について  
本町の考えは。

【福祉部長】ボランティ  
アは自らの意思に基づ  
き、自発的に行う活動  
であり、有償、無償は  
個々の考えに基づくも  
のと認識している。

【問】「シルバー人材セ  
ンター」との棲み分け  
は。

【福祉部長】見守りやゴ  
ミ出し、買い物等高齢  
者の困り事について多  
くの選択肢の中で地域  
全体で支え合う仕組み

づくりが構築できれば  
と考えている。

タウンミーティング  
について

【問】「道の駅」の質問  
や意見はどのようなも  
のがあったか。

【経済建設部長】事業費  
の確保や整備の必要性、  
また効果についてが特  
に多かった。

【問】次年度以降のテー  
マ等実施内容は。

【企画部長】「地域公共  
交通」や「子育て支援」  
に沿ったものを想定。



第7期東郷町高齢者福祉計画  
平成30年度「タウンミーティング」資料



Q：「道の駅の結論」は、いつ出す予定か  
A：「本年度内に出したい」と、考えている

若松 孝行 議員

【問】「道の駅の結論」

はいつ出す予定か。

結論を出さないのか

との町民の声をよく耳

【町長】現在、今回のタ

にする。町民は町長に

ウンミーティングでい

「決断力」や「スピー

ただいたご意見やホー

ド感」を期待している。

ムページなどで実施し

町民の声や期待に対し

たアンケート調査を分

て、町長はどのように

析しているところであ

考えるか。

り、この結果だけでは

【町長】「スピード感」

なく本町が進めていた

も大事だが、そればか

「道の駅」の具体的な

りを意識していると、

計画内容や町長選挙さ

町民の声を聞くという

らには、本事業の中止

大切な部分を欠落させ

を求める要望書なども

てしまう。それらを十

含めた様々な事柄を参

分加味したうえで「結

考に本事業の結論につ

論を出したい」と、考

いて総合的に判断し

えている。

「本年度内に結論を出

したい」と考えている。

【問】町長に就任されて

既に半年以上が経過し、

またタウンミーティン

グも終了した。慎重も

必要だが「まだ町長は



「道の駅」をテーマとする  
タウンミーティング開催の回覧

Q：道の駅、タウンミーティング後の決断は  
A：年度内に総合的に判断する

水川 淳 議員



【問】費用抑制も期待で

きる事業手法や利益還

元の可能性もある運営

手法が一例も示されな

かったのは残念。なぜ

示されなかったのか。

【経済建設部長】町長選

挙の結果を受け、関係

機関との協議を含め基

本計画策定を中断して

いる状況であり出せな

かった。

町民からの意見の集約について

【問】道の駅では町民ア

ンケートよりタウンミ

ーティングが重視され

た印象がある。違いは、

【企画部長】アンケート

は多数に同一の質問を

行い統計的に処理する。

タウンミーティングは

生の声を聴くとともに、

参加者も他の意見を聞

く機会となる。

【問】議員は住民の声か

ら課題や問題点を拾い、

発しているが取扱いは、

【企画部長】選挙で選ば

れ議決機関として行政

への監視・評価など重

要な責務を持つている

ことから他の手法との

大きな違いと考える。

【問】多くの情報発信を

求められる。今後は、

【企画部長】より積極的

な情報開示をおこない、

場面に応じ最適な手法

を取り入れていく。



62ページで構成された  
「道の駅検討書（基本構想）」



**Q：御岳交番北交差点の横断歩道に信号機設置は**  
**A：今年度中に設置する**

近藤 鑛治 議員

【問】9月27日に諸輪・御岳地区で実施された

**交通量調査について**

【問】御岳交番北交差点の横断歩道に信号機の設置要望が以前から出ているが状況は。  
 【総務部長】愛知署に確認し今年度中に設置予定と回答をもらった。  
 【問】登下校時の交通安全対策の取組みは。  
 【総務部長】全小学校区に交通指導員を配置し交差点など登下校時の交通安全指導を実施している。学校から交通量の多い交差点で交通指導員の増員要望もあり検討している。スクールガードは毎日児童と同行し交通安全指導を実施している。



御岳交番北交差点の信号機設置予定の横断歩道

交通量調査の結果は。  
 【経済建設部長】諸輪信号交差点を始め9ヶ所の交差点で午前7時～午後7時までの交通量を計測した。各交差点で通勤時間帯（7時～9時）帰宅時間帯（17時～19時）が最も多いことが分かった。特に諸輪交差点、八王子前を通過する車が多い。調査結果を踏まえ、さまざまな状況を想定しながら慎重に検討を進める必要があると考えている。

**Q：巡回バスの通学、通勤に回数券、定期券を**  
**A：経費がかかるので出来ない**

いしい ゆみ 議員



【問】タウンミーティングの中でいこまい館の玩具の衛生管理について町民から問われた。

【問】タウンミーティングの中でいこまい館の玩具の衛生管理について町民から問われた。

**公共施設のおもちゃの衛生管理について**

町長の約束、上城保育園の跡地は  
 【問】町長は、諸輪地域の土城保育園の跡地について約束をしたが、その後を問う。  
 【経済建設部長】全面公園化。  
 【問】約束が、すぐに守られなければ丁寧な理由を伝えることも町長の責任。いかがか。  
 【町長】公園の内容や前の道路についても声を聞き、よい公園にした。私も出向く。



じゅんかい君バス停

こども課の玩具は、迅速な対応で消毒の回数や日時等表を作成し見える化した。いこまい館は、週に一度、全ての施設は、安心安全と考える保護者も多い。  
 【健康部長】気持ちよく利用する為に定期的な消毒管理に努め見える化する。プラスチックの玩具は、紫外線殺菌の回数を増やし、衛生的な管理を目指す。





**Q：大規模災害時の防災拠点整備をどうする**  
**A：今後大災害時の帰宅困難者対策を考えたい**

加藤 達雄 議員

【問】道の駅整備の目的として大規模災害時の防災拠点の整備もある。国道153号線は大災害時の第1次緊急輸送道路及び、主要徒歩帰宅経路に指定されている。地理的要衝の町として、有事の際の支援等の拠点を整備する事は重要かつ責務であると思う。【総務部長】町も国道153号線は災害時の防災拠点として重要道路の認識を持っている。災害時の食料備蓄をはじめとする防災倉庫は避難所となる町内全ての小中学校への設置が今年度完了するので更に食料備蓄・機材等充実させているところ。今後国道153号線で地域住民や帰宅困難者の災害時



「道の駅」構想は「東郷町創生総合戦略」に位置づけられた施策

の不安を軽減させるための対策を講じられるよう研究する。  
**地域福祉計画策定に向けた活動が始まる**  
 【問】地域福祉計画活動の成功の力ギは住民の主体性と思うが。【福祉部長】計画の策定段階から町民の参画を求めることで地域住民主体性すなわち「我が事」の意識の醸成を図っていく。

**Q：「ららぽーと」から栄へ高速直通バスの検討は**  
**A：バス会社に情報提供し路線協議を行っている**

加藤 宏明 議員



【問】私は傍本本の深池交差点から（植田で名古屋高速に乗り吹上西で降り）栄への所要時間を調査。最短で28分、渋滞で最長45分であった。路線バスでも1時間以内に栄へ移動できる直通バス運行などバス会社へのセールス活動は。【生活部長】平成28年度以降情報提供し直通バスや高速バス各社にもバスターミナルの概要を説明し、乗り入れ協議を行っている。



建設中の県道と「ららぽーと」

くの来場者が見込まれ、従業員やスタッフは1日延べ1万人予想。「ららぽーと」（企業バス）や民間バス、コミュニティバスの再編や相互乗り入れの会合は。【生活部長】町民4000人にアンケートを実施。バスターミナルは東郷町地域公共交通網形成計画で「交通結節点」であり交通関係者、公安関係者、町民からも意見をいただき具体的な手法について調整をしていく。





**Q：牛乳について学校、子供、保護者へ聞き取りは**  
**A：現段階では行っていない**

石橋 直季 議員

【問】なぜ、納得できる理由もないまま、牛乳をなくすことにこだわっているのか。

【教育部長】完全になくすことは考えていない。

【問】完全になくすのではないと受け取れる答弁はこれまで全くない。だいたいではない。方針が変わったのか。

【町長】変わっていない。

【問】牛乳がなくなることの不安の声があがっている。牛乳をどう取り扱いたいのか。

【町長】5大アレルゲンのうちの1つ。アレルギーのお子さんが、給食を仲間と一緒に楽しく食べる権利を守り続けたい。私の親心。

【問】なぜ、今日この場でその話を初めてされ



まずは町民の声をきいてほしい

るのか。なぜ「牛乳はお米と合わない」「牛乳は給食費に占める割合がかなり大きい」「牛乳は市販で安く購入でき、各家庭でも簡単に手に入る」「牛乳をなくしておかすを増やしたい」という理由を述べて、議論を不明確にするのか。

【町長】米飯ということ、これだけでもパンは除かれているとわかれると思う。完全、完全と吹聴しているのは議員。

**Q：総合体育館の火曜日も利用できないか**  
**A：火曜日の夜間開放に向け、準備を進めたい**

加藤 啓二 議員



【問】総合体育館は火曜日をメンテナンス等の為に休館日となっているが、火曜日も利用ができないか。

【教育部長】総合体育館は施設の維持管理のため火曜日は休館日であるが、町民にスポーツを楽しむ機会をできるだけ多く提供する観点から完全休館日をなくし、今後は火曜日の夜間開放に向け指定管理者と利用時間帯や利用料金の基準額などを協議し、条例改正のために準備を進める。

**総合体育館の空調管理について**

【問】夏場の体育館利用者の体調管理や安全対策を考えエアコンの使用



総合体育館外観

用の考え方を伺いたい。

【教育部長】今年の猛暑は熱中症対策が必要と判断し、施設内の「暑さ指数」が30℃以上の場合、利用者からの申込みがなくても冷房を入れ利用者の安全対策をした。今後は、利用者の健康、安全対策として利用料金の基準額内でエアコンが入られるように指定管理者に提案していく。



**Q：再生可能エネルギー導入への考えは**  
**A：行政の重要課題**

門原 武志 議員

【問】町工コまち計画ではセントラル地区のCO<sub>2</sub>削減目標が27%とされているが、期待される経済効果は。

【経済建設部長】年間1900万kwhの電力と500万ℓのガソリンの消費を削減すると仮定して、1年あたり12億円相当。

【問】尾三衛生組合の新しいごみ処理施設建設への東郷町の負担は。

【生活部長】現在と同様の規模・方式として32億7000万円程度。

【問】草木ごみを資源化する施設を尾三衛生組合に導入する考えは。

【生活部長】研究課題だ。

【問】町の電力調達で再生可能エネルギーの比率を高める考えは。

【総務部長】共同で電力



調達している日進市と話す。

**国民健康保険税**

【問】国保税と協会けんぽ保険料の年額は。

【健康部長】夫43歳・年収350万円、妻40歳・年収103万円、小学生2人の世帯の国保税は34万5800円、協会けんぽは20万6460円。25歳・年収250万円の国保税は15万2400円、協会けんぽは11万8800円。（協会けんぽは同額を雇用者が負担）

**Q：感震ブレーカー設置補助の利用状況は**  
**A：今年度から始めた事業、10月末現在で7件**

若園ひでこ 議員



【問】補助金額は2000円、何件分の予定か。

【総務部長】50件分となっている。

【問】始まったばかりとは言え、50件の予定で7件の利用しかない。今後の周知をどのように行っていくのか。

【総務部長】広報・ホームページ・各種行事・会議等で行っている。利用件数が少ないので、あらゆる機会を捉えていきたい。

【問】周知は大切。役場ロビーにある、各種チラシのラックにも、チラシを置くべきでは。

【総務部長】耐震シエルトアの展示もしているので、併せて周知を図ってきたい。

**町民会館玄関先の  
樺の伐採予定**

【問】その理由は。

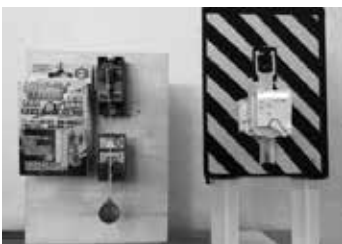
【教育部長】町民会館の安全な管理運営を考え、た一部伐採である。

【問】スケジュールは。

【教育部長】現在、調整中で明確には言えない。

【問】伐採後の玄関先は、どのような状況になるのか。

【教育部長】樺のあった植樹スペースを活かし、樹木を植えて憩いの場としたい。



感震ブレーカー





Q：安全で有用な給食の為の牛乳取組みについて  
A：毎食の提供を見直す方向で検討する

國府田さとみ 議員

【問】重篤な牛乳アレルギー児童は、皮膚に触れただけで症状が出る。毎日の給食時に教室にある事でリスクを強いられる学校生活は改善すべき。生産加工方法や殺菌方法により、遺伝子組換えの影響、女性ホルモン過多、カルシウムやたんぱく質が吸収されにくい等の安全性・有用性への疑問もある。安心・安全な給食の為に、提供頻度を少なくする。(パン給食時のみ提供、全ての児童が食べられる牛乳他アレルギー食材を排除した、ユニバーサル給食)を取り入れる) 必要な栄養素は他の食材で摂取し、牛乳を嗜好品として「選択」で

きるようにする。栄養素を吸収し得る殺菌方法や安全な生産加工の牛乳に移行する。こうした取り組みはいかかか。

【教育部長】今後給食を見直す上で参考にします。

産後ケア事業について

【問】事業の目的は。

【健康部長】退院直後(2週間ごろから)の母子に助産師が訪問し心身のケアや育児サポートで、安心して育児を行えるようにする。



カルシウム吸収の有用性を調べるレンネット実験



個人情報取扱の観点から、受付簿の年齢記入欄をなくし、受付簿を入れる受付箱を設置しました。

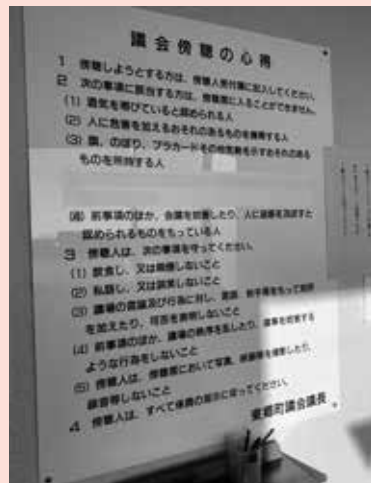
傍聴規則を一部改正しました

傍聴しやすい環境を整えるため、議会傍聴のルールである「東郷町議会傍聴規則」を一部改正し、2018年12月定例会から、新しいルールでの運用を始めました。

見てみませんか

議会へGO!

年齢制限を撤廃したことで、12歳未満の子が、これまで必要であった引率者、議長の許可を得なくても、傍聴ができるようになりました。



# 活動レポート

## 総務経済委員会 県内研修

総務経済委員長 加藤 宏明

平成30年10月10日(水)

研修先：みよし市①農業の現状について、②防災について

↓みよしの市の総面積は32.19km<sup>2</sup>。

1/4の7.54km<sup>2</sup>が田畑で、耕作放棄地を行政、地区で会議を重ね集積化に取り組まれている。↓本町は地区に出向いての相談会はない。

研修先：日進市①区画整理全般について、竹の山：米野木の区画整理

↓日進市の面積は34.91km<sup>2</sup>。

市街化区域は10.93km<sup>2</sup>。昭和44年5月にスタートした第二和合西ネオポリスを皮切りに今までに18の区画整理が完了。赤池箕ノ手、香久山西部の2区画が進行中。

来年は口論義公園西の北部地区27.1ha、日進駅西地区6.84haがスタート。

日進市は行政主導で取り組まれている。↓本町は地区および地元主導で進められている。

## 総務経済委員会 県外研修

総務経済委員長 加藤 宏明

平成30年11月8日(木)～9日(金)

研修先：奈良県香芝市＝香芝ブランド推進事業

→商工会が火付け役。

平成27年スタート、

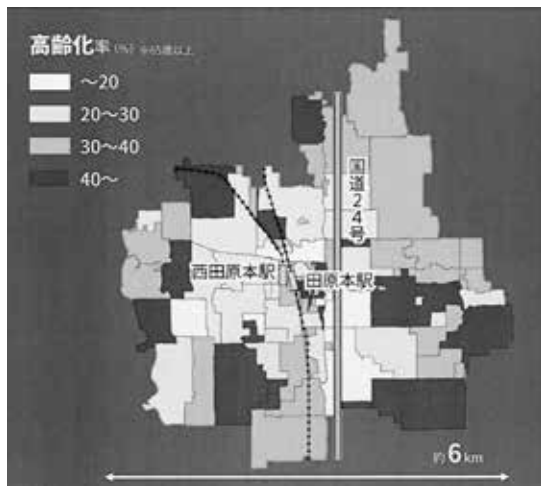
地方創生加速化交付金を活用して地元ブランド

【Kashiba+ (PLUS)】を認定。

「全ては子どもの笑顔のために」をシンボルに推進中。

→本町でも、まずはやってみる、取り組んでみる事が

重要であると思った。



奈良県田原本町＝デマンド型乗合バス「ももたろう」の取組から「タワラモトタクシー」への移行について

→本町より小さな面積で鉄道が2路線あり、民間バス、公共バスはなかったことから平成22年から乗合タクシーを運行したが、台数1台で予約が面倒であり、停留所への移動も困難で不満続出。

平成30年7月からタクシーチケットを助成する制度に移行。初乗り料金を補助。

対象者：妊婦、就学前児童、70歳以上＝年間24枚

// : 身体障がい者、療養手帳者、移動困難者＝年間12枚発着が田原本町なら可能。



## 総務経済委員会 継続調査事件のその後

### 愛知池周辺の資材置き場等への対応

→所管事務が愛知県の尾張県民事務所廃棄物対策課であり、情報の交換をしながら合同巡回を月1回実施し、本町の環境パトロールも回数を増やし巡回を強化している。



## 文教民生委員会 県外研修

文教民生委員長 加藤 達雄

文教民生委員会は今回、大阪府池田市の「教育日本一」の取り組みと、同府寝屋川市の「地域福祉計画」の取り組みを学ぶため、両市を訪れました。まず池田市は、府重点施策である地域社会が小中学校の教育活動を支える「教育コミュニティ」作りをいち早く充実させ、更に多様な教育事業に取り組む、平成28年度から「教育日本一」を掲げて活動を進めております。この根底には、子ども達の将来予想される厳しい時代を生き抜く力を育むため、多様な教育活動を、就学前から義務教育の9年間を見通した、小中一貫教育を大切にす



考えがあるようです。これまでの「豊かな心、確かな学力、健やかな身体の育成」に加え6つの分野の強化として、幼児教育、学習環境、英語教育の充実、家庭学習、ICT教育の支援と、豊富な外部人材を活用する事と、教育を学校だけに任さず、家庭と地域の3者により、物心両面で支援する体制で「教育日本一」を目指すものとして

しております。分野別では、本町も大いに参考としたいテーマもありました。寝屋川市では、「“おたがいさま”でみんながつながり、“地域の福祉”を高めよう」を推進目標とし市民、団体、事業者等の皆様と市が力を合わせて、計画の効果的な推進に取り組む活動をおこなっています。本町も2年後、「地域福祉活動計画」推進の際には最も大切にしたい部分であります。今回、当委員会の研修で学んだモノ分野こそ違いますが、奇しくも事業の効果的推進には「我が事丸ごと地域共生社会」の考え方が重要なキーであることを再認識した研修でありました。



# 東郷町議会基本条例制定へ



会議中の風景



議会活性化特別委員会の議会基本条例に関する小委員会は、およそ2年間かけて、55回の会議、県内外先進地4ヶ所への視察研修を経て、議会基本条例（案）を作成しました。



先進地から学ぶ



9月14日、全議員が参加する議会活性化特別委員会において、議会基本条例（案）が承認されたことから、町民の皆さまに素案を見てもらい、意見をもらうため、議会報告会・意見交換会、パブリックコメントを実施する運びとなりました。



議会報告会・意見交換会

11月17日、町民会館にて開催した議会報告会・意見交換会では、条例（案）に対するご意見だけでなく、広く、議会活性化につながる多くのご意見をいただきました。

また、10月29日から11月19日にかけて実施したパブリックコメントにおいては、4名の方からご意見をいただきました。

議会活性化特別委員会では、いただいたご意見をもとに再度、議論を重ねています。今号が発行される頃には、3月定例会での上程に向けた最終段階に入っていると思われます。

議会基本条例（案）及びパブリックコメントへの回答は町ホームページから見るができます。

ホーム>町政情報>東郷町議会>東郷町議会基本条例（案）に対する意見募集結果





# 議会改革の取り組みを振り返って

議会活性化特別委員会 委員長 加藤啓二

## 東郷町の議会改革の取組

全国の市町村議会が、議会改革、議会活性化に取り組んでいます。

東郷町議会も以前より議会改革に前向きに取り組み、議員定数、議員報酬の削減など、全国的にも早い段階で実施してきました。

「住民のため、町のために」との目的意識をもち、開かれた議会を目指し、基本コンセプトと、しっかりとした環境整備、議員一丸となり議会改革を協力する体制、組織確立のため今期は、議会基本条例の検討に特化したA小委員会と、活性化全般をテーマとしたB小委員会の二つに分けました。

議会基本条例については、すでに当日よりを通じて進み具合などをお伝えしてきましたが、一方のB小委員会では、平成28年度から平成30年度までに、

■議会人事案件を行う際の改善

■委員会人事案件を一括で行う検討

■議長・副議長の任期

■政務活動費の検討

■虚礼などの廃止に関する申し合わせ

■傍聴規則の見直し

■会派制度の改善

■代表質問制度

などを検討・実施してきました。

また、

■災害時の議会の役割

については、東郷町議会災害対策会議設置要綱の策定、災害発生時の東郷町議会議員行動マニュアル、東郷町議会災害対応方針、などを検討してまいりましたが、さらに来期以降に具体化していく案件となります。

ほかにも、

■18歳の投票権の対策

■議会モニター制度

■議会図書室の機能強化

■議員定数の検討

■議会ICT化の検討

など、今期に検討に入ることができなかった案件も、来期にしっかりと申し送ってまいります。

## 議長室から

議長 箕浦 克巳

ここ数年の議会での注目すべき動きとして、  
・政治倫理審査会開催  
・前議長に対する不信任決議案可決  
・愛知池周辺の大火災に関する委員会継続調査開催



愛知駅伝の会場にて

など、重大かつ難しい審議案件がありました。しかし暮らしにあまり関係ないジャンルだからなのか、伝わっていないのか、町民からの反応はほとんどありません。議会の情報発信をもっと工夫する必要があると反省しています。

平成の元号が終わる本年、東郷町議会も改選期を迎えます。新構成となる議会が、活発な議会活動によってさらに町民の福祉が増進されることを期待します。

## ネットで議会

QRコードリーダーで読み取ってご覧ください



議会ウェブページ



録画映像配信

## 表紙の写真

### 「まちではたらくひと」

今回の「まちではたらくひと」は、町内の郵便局にお勤めの古谷さん。

「この郵便局はなんだか明るいな」と思っていただけに、大きな声で元気よく対応することに一番気を遣っているそうです。

さまざまな方と接する機会のある職業なので、お客様との会話の中から知識を得たり、共通点を見つけられるように、と日々の努力を惜しみません。

お若い郵便局員さんのますますの「進化」が楽しみです。



### 平成31年3月定例会の日程

2月26日(火)	開会(議案上程)
3月4日(月)	一般質問
6日(水)	一般質問
7日(木)	一般質問・議案質疑
11日(月)	予算特別委員会
12日(火)	予算特別委員会
14日(木)	総務経済委員会
15日(金)	文教民生委員会
22日(金)	閉会(討論・採決)

### 編集後記

全国には様々な議会がありますが、紙の議会だよりは4ページしかなく、詳細な情報はQRコードから、インターネットで見てもうとうといふものもあれば、本町議会の16ページの倍、32ページの議会だよりもあります。それぞの議会で、住民の方々の声を聞いて、出した結果が今の形になっているのだと思います。

委員会視察で、先進的と言われる議会だよりを学びに行くことがあります。視察先でいただいたアイデアを取り入れつつも、編集会議では、読者である町民の皆さまからのご意見を一番の参考としています。これからも、ご意見をお聞かせください。

広報広聴副委員長 石橋直季

### 広報広聴委員会

委員長

水川直季  
石橋直季  
新家光江  
加藤達雄  
加藤宏明  
若園啓二  
箕浦克巳

議会だよりへのご意見は、☎ 0561-56-0754 議会事務局まで。

議会だよりは再生紙を使用しています。